

倫理規範

なぜなら、ビジネスインテグリティは私たちにとって最初に尽力すべきことだからです





目次

- 04 CEOからのメッセージ
- 06 倫理規範の対象者
- 07 倫理規範の利用方法
- 08 懸念を提起する方法

1. 人・環境の尊重と保護

- 12 個人の尊重
- 14 健康・安全の維持と人・環境の保護
- 16 プライバシーと個人情報の保護

2. 事業活動におけるインテグリティ

- 20 利益相反への対応
- 22 贈収賄と腐敗行為の防止
- 24 社会活動への参加
- 26 自由競争の尊重

3. 企業情報の管理におけるインテグリティ

- 30 秘密情報と極秘情報の保護
- 32 インサイダー取引の防止
- 34 ソーシャルメディア使用時の当社イメージの保護

CEOからの メッセージ



「EUROAPI にとって、誠実さは単なる原則ではなく、成功と成長の原動力です。」

誠実さ:弊社社風の礎

EUROAPI は、医薬品有効成分の世界的大手メーカーであり、欧州全土に複数の製造拠点を展開しております。前進を続ける弊社にとって、納入業者、お客様、投資家、利害関係者のみなさまと、信頼に基づく関係を築くことは、一貫して最優先事項です。この信頼こそは、競争力を高め、持続可能な成長を確保するうえで、極めて重要です。

信頼を維持するには、あらゆる決定の核心に誠実さを据えることが必要です。倫理とは、弊社がサービスを提供している80を超える国々の法律や規制を単に遵守するだけに留まりません。倫理的であるためには、いかなる状況においても、何が正しいか何が公正かを常に思考し、健全な判断を下すことが求められます。

本倫理規定は、日々の業務において、私どもや、私どもに成り代わって働いてくださるみなさんが指針とすべき倫理原則を概説するものです。そこでは基本理念が語られており、汚職防止、人間尊重、環境保護といった大切な要素を取り上げつつ、誠実さを旨とする弊社の社風が要約されています。取締役会を含め、社内における担当業務、部署、役職に関わりなく、私ども一人ひとりが、これらの原則を理解し、受容し、実践していく必要があります。妥協は許されません。

弊社の管理職のみなさんは、これらの原則を部署内において周知徹底する責任を負っています。弊社の倫理コンプライアンス部門は、本規定を策定するだけでなく、包括的なプログラムを開発しています。これには、各種のポリシー、オンライン研修や対面研修、専用のイントラネットサイトが含まれます。これらのリソースは、倫理基準を社内各層に徹底することを目的として設計されています。

倫理は EUROAPI の DNA に深く根差しています。EUROAPI の倫理規定に命を吹き込むことができるのは、従業員のみなさん一人ひとりです。みなさんが、日々の業務のなかで、これらの価値観を体現してくださることを信じております。

CEO
Ludwig de Mot

倫理規範の 対象者



この倫理規範は、EUROAPI
の正社員と契約社員、
EUROAPIの代わりに業務
を行う者すべてに適用され
ます。

私たち一人ひとりが、当社の倫理規範
に定められた原則を読み、理解し、遵
守する必要があります。

当社の倫理基準が損なわれている可能
性があると思う場合は、懸念を提起す
る義務があります。

倫理規範の 利用方法

倫理規範は、あらゆる状況において、日々の活動における振舞い、行動、意思決定の指針となる参照ツールです。

状況によっては対応が難しい場合があります。倫理的な意思決定は、単に規則に従うだけではないため、時に困難なように見えます。

倫理規範は、日々の活動における振舞い、行動、意思決定の指針となる参照ツールです。この倫理規範は、遭遇するビジネス状況について自分自身に問いかけることで、私たち全員がどんな状況においてもインテグリティと共に行動することができるようになる参照ツールです。

EUROAPIは本規範に加えて、私たちが遵守すべきポリシーと業務手順も導入しています。私たちは、正しいことを適切な時に適切な方法で、正当な理由で行っていかねばなりません。

この倫理規範の指針が特定の国の法律や習慣と異なる場合があるかもしれません。現地の法律や慣習の基準がこの倫理規範よりも厳格な場合は、常に現地の法律や慣習が適用されます。逆に、この倫理規範の方が厳格な場合は、倫理規範を優先する必要があります。

疑問を感じたら、自身に以下の問いかけをしてください。

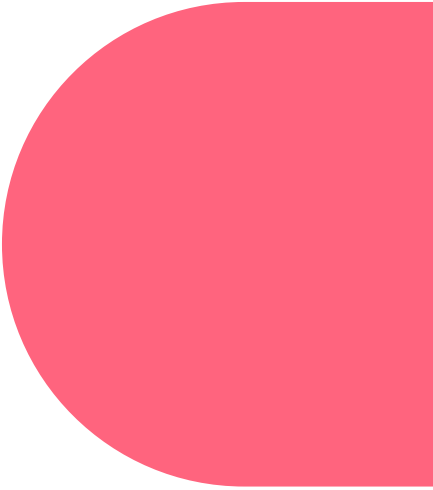
- ✓ 法令や、EUROAPIの倫理規範、ポリシーまたは業務手順に違反しているだろうか？
- ✓ 倫理的価値観に反しているだろうか？
- ✓ 自分が相手から期待するのと同じように他者に接しているだろうか？
- ✓ 見返りで誰かに借りができるだろうか？
- ✓ これが新聞の一面に掲載されたとしたら、私の決定は不適切に見えるだろうか？

これらの問いかけへの回答のいずれかひとつにでも懸念がある場合は、独りで悩まずに懸念を提起してください。

懸念を提起 する方法



法律・規制・業界の行動規範・EUROAPIのポリシーや基準・EUROAPI倫理規範における原則のいずれかに対する違反が起こった、起こりつつあると懸念を抱いた、または誠実にそう思う場合、EUROAPIの社員には最も適切と考える手段で懸念を提起する義務があります。



コンプライアンス&ビジネスインテグリティ責任者に直接、またはコンプライアンスヘルプラインを通して懸念を提起することをお奨めします。

懸念に関する報告を受けた場合は、あなたもまた速やかにコンプライアンス&ビジネスインテグリティ責任者またはセキュリティ保護されているコンプライアンスヘルプラインに問題を通報する必要があります。

コンプライアンスヘルプラインのアクセスリンクと電話番号は、EUROAPIイントラネットサイトに掲載されています

懸念を提起した社員は、誠意を持って悪意なく行った場合、懲罰や差別を受けることはありません。後に誤報と判明した場合や、特に措置が講じられなかった場合も同様です。

コンプライアンス&ビジネスインテグリティ部門は、必要に応じてEUROAPIの他の部門からサポートを得て、報告された申し立てについて調査を実施します。

報告された申し立てが調査によって確認された場合、EUROAPIは、是正措置や懲戒処分、また必要であれば法的手続きによってそのケースに対処することになります。



人・環境の 尊重と保護

活気のある創造的で安全な職場環境

01

個人の尊重



EUROAPIは全社員および外部のビジネスパートナーにとって、活気のある創造的で差別のない職場環境を育みます。

私たちは「世界人権宣言」と国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に従って、人権の尊重と推進に取り組んでいます。

私たちは国際労働機関の基本条約（児童労働と強制労働の禁止、結社の自由の尊重を含む）で扱われる諸問題に警戒の目を向けています。

私たちは多様性を奨励し、公正さを実践し、EUROAPIの内外の個人との交流において敬意を表します。



私たちは以下について尽力しています：

⇒ 人の尊厳を傷つける行為を禁
じること。

⇒ ハラスメントや以下などに起因
するあらゆる形態の差別を一切認
めないこと：

- 性別
- 性自認
- 年齢
- 出身地
- 宗教
- 性的指向
- 身体的特徴
- 健康状態
- 心身障害
- 労働組合の活動
- 政治的見解
- 国籍
- 家庭環境

⇒ 採用、研修機会、給与、福利厚生、人
事異動、能力開発において、各社員ま
たは採用応募者の機会均等を支援する
こと。私たちは、技能、経験、人物適
性などの差別的でない要因を採用決定
において考慮します。.

⇒ 多様性を奨励すること。社員と外部の
ビジネスパートナーが持つ独自性は、
当社の活力源であり、成功の大きな要
素であると考えます。

期待すること： 外部のビジネスパートナーも私たちと同じ価値観を共有し、国際労働
機関の基本原則、特に、児童労働・強制労働・労働時間・給与・結社の自由・差別禁
止に関する原則に従うことを期待します。

EUROAPIで守るべきこと：

- ✓ 他者に対し、同僚としてふさわしい扱いを受けるように接し、尊重する。
- ✓ 身体的・性的・心理的・口頭その他の形態を含め、いかなるハラスメントも
容認せず、また関与しない。
- ✓ 偏見に挑み、同僚の意見・外見・態度に対する先入観を避ける。
- ✓ EUROAPIでまたはEUROAPIのために、前向きな職場環境の創出に努める。
- ✓ 外部のビジネスパートナーに対し、同僚の原則を尊重して交流するよう奨励
する。

健康・安全の 維持と人・環境 の保護



EUROAPIでは、健康・安全の維持と人・環境の保護が不可欠です。

私たちは、以下の点を保証します：

- ...当社の社員および外部パートナーにとって安全で健全な職場
- ...当社のすべての活動における環境フットプリントの最小化
- ...周囲のコミュニティと社会の保護



私たちは以下について尽力しています：

- ⇒ 社員、および直接接するだけではなく、当社と繋がりのあるすべての人の健康・仕事と生活の質、安全を確保すること。このコミットメントは、私たちが事業活動に伴う物理的・化学的・生物学的なリスクを評価・防止・統制することを意味します。
- ⇒ バリューチェーン全体における事業活動や製品の環境フットプリントを制限します。水とエネルギーを節約し、排気・排出物・廃棄物の削減によって残留物の影響を減らすことで、これを行います。

EUROAPIは気候変動への対応における私たちの役割を認識しており、環境に配慮した意思決定を可能な限り、いかなるときでも、いかなる場所でも行うことを約束しています。

EUROAPIで守るべきこと：

- ✓ 私たちが事業活動を行う地域に適用される法律と規制に従う。
- ✓ 関連する健康・安全・環境上の要請に対応し、専門家の推奨とベストプラクティスを実行し、学習体験を共有する。
- ✓ 健康・安全・環境の理念を、透明性と敬意と責任を持って組織全体に浸透させる。
- ✓ 事故を防ぎ、健康リスクを避け、快適な暮らしを促進し、環境への影響を減らすよう努力する。
- ✓ 提携会社・供給業者・請負業者に、健康・安全・環境を保護するための責任ある方針を導入させる。
- ✓ 健康・安全・環境の保護戦略について、透明性のある建設的な姿勢とステークホルダーとの対話を促進する。

プライバシーと個人情報 の保護



EUROAPIでは、社員と他の
ビジネスパートナーの個人
情報を保護することが非常
に重要です。

プライバシーと個人情報の保護は基
本的な権利です。特に通信と情報テ
クノロジーの進歩を考慮すると、当
社の社員および他のビジネスパート
ナーの個人情報を保護することは非
常に重要です。



私たちは、 個人情報保護を適用される法律の許容範囲内でのみ取り扱うことに、全力で取り組めます。

「**個人情報**」とは、個人識別番号や、人の身体的・生理的・精神的・経済的・文化的・社会的アイデンティティに固有の要素など（例：氏名、生年月日、社会保障番号、身体的特徴、電子メールアドレス、コンピューターID、健康関連情報、遺伝子情報など）、個人を直接的または間接的に明確に特定可能な情報のことです。

EUROAPIで守るべきこと：

- ✓ 個人情報を収集・保存・使用する地域で適用される法律と規制を遵守する。
- ✓ 正当な目的を達成するために必要最小限の個人情報を収集・使用・開示・保存する。
- ✓ 現地の規制に従って、取り扱う目的に必要な期間のみ個人情報を保有する。
- ✓ 個人情報を収集・処理・使用・開示・保存する間、個人情報を保護する。
- ✓ データ・プライバシーに関連する事件は、上司、現場のセキュリティオフィサー、またはコンプライアンス&ビジネスインテグリティ責任者に報告する。



事業活動における インテグリティ

企業のステークホルダー、顧客、サプライヤー、株主、その他のビジネスパートナー、EUROAPIが事業活動を行う市民社会のメンバーとの信頼関係を維持するために

02

利益相反への 対応



利益相反の可能性に気づき、効果的に対処することは不可欠です。

利益相反は、個人の利益がEUROAPIの合法的な事業利益と抵触する、または見かけ上抵触するというリスクが存在している状況を指します。どんな利益相反も不適切な様相を呈するため、EUROAPIへの信頼を損ねる可能性があります。以上の理由から、利益相反の可能性に気づき、効果的に対処することは不可欠です。

私たちは、利益相反の状況を未然に把握・開示し、それを排除・緩和する手段を提供することに尽力します。

利益相反を防ぐため、当社の社員は特に以下のような状況で、業務上の意思決定に客観性が失われないように注意し、適切に行動する必要があります。

⇒ 社外との関わり

- ▶ EUROAPIのベンダーや顧客のために仕事をする、またはベンダーや顧客から報酬を受け取る。
- ▶ EUROAPIの競合他社、顧客、ベンダー、EUROAPIと取引のある第三者と金銭的利益関係を維持する。
- ▶ EUROAPIに販売・貸与する目的で、不動産や資産の権益を、直接または間接的に、取得・所有する。
- ▶ 第三者がEUROAPIから有利な決定が得られるように影響力を行使する見返りとして、第三者に個人的な利益を要求する。

⇒ 個人的な関係

- ▶ EUROAPI・競合他社・ベンダー・EUROAPIの顧客に勤務または応募している親族と交流する。
- ▶ 親族または親族が利害関係を有する会社から、EUROAPIを代理して商品やサービスを購入する。

⇒ 価値ある物品の受け取り

- ▶ ギフトを受け取ると受け取った者に義務感が生じ、その意思決定において客観性を損なう可能性があり、さらに受け取った者またはその他のEUROAPI社員を買収する目的のギフトと見なされる可能性がある。

EUROAPIで守るべきこと：

- ✓ 報告義務のある状況につながる取引・活動・関係に関与する前に、利益相反の事実または可能性について開示する。
- ✓ 採用過程の一環として利益相反の事実または可能性について開示する。
- ✓ 「リスク対象のEUROAPI社員」（ファーストライン・マネージャー）、およびサービス・原材料・資産・製品などの契約・購買・販売・リースに定期的に携わるすべての社員は、年に一度、利益相反の事実またはその可能性をすべて開示する。
- ✓ EUROAPIの顧客、ベンダー、競合他社の取締役を務めることは控える。EUROAPI社員の任務以外に社外取締役を務めることは、Executive Committeeのメンバーのみが承認を受けた後に可能であり、EUROAPIでの任務と競合しない場合に限る。
- ✓ 自己判断は状況によって正しくない場合があるため、独自の解釈のみに頼らず、上司または担当のコンプライアンス&ビジネスインテグリティ責任者に対処法を相談する。

贈収賄と腐敗行為の防止



EUROAPIでは、贈収賄および腐敗行為は許されません。あらゆる形の腐敗行為と闘うことが優先事項の一つです。

腐敗行為は、公正な競争を蝕むのみならず企業や個人の信用を失墜させ得るものであり、経済発展の妨げとなります。

EUROAPIでは、あらゆる形の腐敗行為と闘うことが優先事項の1つです。倫理的でインテグリティに基づく企業文化を推進することは、ステークホルダーと社会の信用を維持するために重要です。EUROAPIは、組織全体にインテグリティに基づく文化を育み、腐敗行為のリスク減少への期待を明確に伝えることに真剣に取り組んでいます。

EUROAPIの社員は、行動や決定に影響を及ぼす目的で、価値のある物品を供与すること・供与の約束をすること・提供の申込みをすることは、いかなる人に対しても禁じられています。特に、顧客、サプライヤー、公務員との交流において、これらの行為は禁じられます。

この禁止は、間接的な腐敗行為、すなわち、第三者がEUROAPIの名義でまたは代理として実行する行為にも適用されます。

⇒ 価値のある物品には以下のようなものがあります（これらに限られません）：

- 現金
- ギフト
- 供応、宿泊、食事
- 旅費
- サービス
- 雇用の申し出
- 融資
- 寄付金や献金
- 対価の譲渡（少額の場合も含む）

国際条約や法令に照らして、腐敗行為に関与した会社は、そのレピュテーションに深刻なダメージを受け、民事および刑事上の厳しい罰金を科される可能性があります。また、事業にも重大な悪影響が及ぶ可能性があります（例：契約解除など）。

腐敗行為をした社員は、会社を危険にさらすだけでなく、個人的にも多額の罰金や実刑判決など、民事および刑事上の処罰の対象となる可能性もあります。

腐敗防止法令の域外適用により、一国で犯した腐敗行為が複数の国で処罰の対象となり、違反者にさらなる罰則が科される可能性もあります。

倫理的でインテグリティに基づく企業文化を推進し、適用される腐敗行為・贈収賄防止法令を遵守するために、EUROAPIは、全社員および（該当する場合は）第三者も従わなければならない明確なルールを定義した包括的なポリシーと業務基準を導入しました。

これらのポリシーと業務基準は、特定の事業活動が正当かつ合法的な業務上の理由で行われることを確実にするために適用され、贈収賄と腐敗行為の防止を目的とした特定の条項を含んでいます。

EUROAPIは、たとえ法律で認められている場合であっても、円滑化のための支払いを禁止しています。

これらのポリシーと業務基準は、発生しうるあらゆる状況を網羅するものではありません。ポリシーや業務基準に特定の状況について触れていない場合や、EUROAPI社員にとって不明瞭な規定がある場合は、コンプライアンス&ビジネスインテグリティ責任者に相談する必要があります。

EUROAPIで守るべきこと：

- ✓ EUROAPIが事業活動を行っている各国に適用されるすべての腐敗行為防止・贈収賄防止法令および協定を遵守し、請負業者にも同様に遵守することを要請する。たとえば、1997年OECD条約、米国の海外腐敗行為防止法（FCPA）、英国の賄賂防止法（UKBA）、フランスの汚職防止法（サパンII法）、中国の不正競争防止法などがある。
- ✓ 腐敗行為リスクの直接的または間接的な防止を目的とするすべてのグローバル・ポリシーに従う。
- ✓ 第三者に委託する前に、リスクベースの贈賄防止デューデリジェンスを実施する。

社会活動への参加



EUROAPIは社会活動に参加する際には、透明性が高く正直でインテグリティをもった活動を行います。

EUROAPIの社員や代理人は、いかなる者であっても許可なく会社の代表として行動したり、公共の問題について発言したりしてはなりません。

EUROAPIの社員は、EUROAPIとは無関係の個人的な試みである限り、独自に社会活動に参加しても構いません。



EUROAPIは企業市民として、事業活動を行う国や地域の社会活動に関わっています。

これらの取り組みの一つ一つで、私たちは常に社会活動に有益な貢献をしようと努め、決して活動を隠しません。私たちは常に適用法令に従って行動します。

私たちは社員が個人の立場で社会活動に参加することを歓迎します。誤解を避けるため、社員は自分がEUROAPIの代表ではなく、個人として参加していることを明確にする必要があります。

会社を代表して公の場で発言することができるのは、許可された社員のみです。EUROAPIの社員や代理人は、いかなる者であっても、特定の政党、政治家や候補者を会社が支援すると約束したり、EUROAPIとの繋がりを政治活動に利用したりすることはできません。

EUROAPIで守るべきこと：

- ✓ 透明性が高く、正直でインテグリティをもった社会活動に参加する。
- ✓ 許可されている場合にのみEUROAPIの代表として参加する。
- ✓ 社会活動への参加は、EUROAPIの代表としてではなく、個人的な立場で自分のために行っていることを明確にする。
- ✓ 意見を述べる場合は、それが個人の意見に過ぎず、EUROAPIの立場を表すものではないことを明確にする。
- ✓ 確信がない場合は、まず渉外、人事、法務またはコンプライアンス＆ビジネスインテグリティ部門に助言を求める。

自由競争の 尊重



EUROAPIは競争市場をサポートし、公正な競争・取引慣行に関する法を尊重・遵守します。

競争と独占禁止に関連する問題は、EUROAPIとその競合他社、サプライヤー、顧客との接触から生じる場合があります。全社員は競争法と独占禁止法を遵守し、競合他社に対する不当な行為を避けなければなりません。以下は反競争的行為の例です：

- ⇒ 非公式な申し合わせも含め、価格協定・談合・市場分割・供給制限などの協定を競合他社と結ぶ。
- ⇒ 潜在的市場独占の地位を乱用する。
- ⇒ 顧客やサプライヤーに規制を課す。
- ⇒ 競争に影響し得る秘密情報を競合他社と交換する。
- ⇒ 特定の合併・買収を始める。

EUROAPIで守るべきこと：

- ✓ 競合他社に勤務していた中途入社社員と、その会社の秘密情報を共有しない。
- ✓ 以下のような情報を、競合他社と直接交換すること、またはサプライヤーやその他の仲介業者を通じて間接的に交換することは避ける：
 - ✓ 価格表、価格設定方法、商品・サービス・製品の原価、値引き、販促・支払条件、利益や利益幅、割引率
 - ✓ 販売条件
 - ✓ 製品の販売計画と販売戦略
 - ✓ 生産能力、生産と出荷の物流、製品品質、将来の拡張計画
 - ✓ 地域、顧客、治療領域による市場分割
 - ✓ 入札案件および入札するか否かの意図
 - ✓ サプライヤーや顧客
 - ✓ 事業に関連する極秘情報や秘密情報
- ✓ 競合他社との非公式な接触を通して、独占禁止法や競争法に違反するような問題について話し合うことを避ける。このような会合の例には、フォーラム、コンファレンス、業界団体の会議などがあります。
- ✓ 顧客やサプライヤーと取引をするとき：
 - ✓ 顧客が再販価格を設定する自由を制限しない。
 - ✓ 市場から競合他社を排除しない。
- ✓ 顧客やサプライヤーをボイコットする約定を結ばない。

独占禁止法や競争法は国によって大きく異なる場合があります。確信がない場合は、法務部に助言を求めてください。



企業情報の管理 における インテグリティ

会社の競争力、イメージ、レピュテーション
を保護・維持するために

03

秘密情報と 極秘情報の保護



秘密情報と極秘情報の保護
は不可欠です。

秘密情報は当社の最も価値ある資産の
1つです。

そのような情報の不適切な使用や開示
によって、会社・ビジネスパートナ
ー・サプライヤー・顧客に深刻な被害
が及び、会社の競争力を弱めて、損害
賠償やレピュテーションの失墜にさら
される可能性があります。秘密情報の
保護を徹底することは、私たち一人ひ
とりの責任です。

このコミットメントは、会社と社員
に関する情報だけではなく、ビジネ
スパートナーの情報にも同様に適用
されます。



「秘密情報」とは、公知の状態になっていないあらゆる形態の情報で、不適切な使用や漏えいが会社に損害を与える可能性があるため、そのような不適切な使用や漏えいから保護する必要のある情報を意味します。

秘密情報の例：

⇒ 会社の経営状態や財務状況

⇒ 戦略／事業計画および価格情報

⇒ マーケティング計画や事業開発戦略

⇒ 研究・技術データ、発明、革新

⇒ ビジネスパートナーから委託された秘密情報

EUROAPIで守るべきこと：

- ✓ 極秘情報の秘密の保持、保護について定めたEUROAPIのポリシー、特に以下を参照する。
 - ✓ 秘密保持に関するポリシーおよびレコードマネジメントポリシー
 - ✓ 書類やその他のデータ記録媒体の開示・複製・保管・廃棄に関連するルールと、会社のレコードマネジメントに関するポリシー
 - ✓ データセキュリティと一般的なセキュリティに関するルール、特に「情報システム利用憲章」（会社のイントラネットに掲載）を参照。
- ✓ 電車・飛行機・レストラン・会議など社外で秘密情報のトピックについて話す場合には、細心の注意を払う。
- ✓ 秘密保持契約の必要性については法務部門に助言を求め、特定のデータ保護手段の適用についてはITS部門に相談する。
- ✓ 極秘情報の秘密保持や保護が侵害された可能性を示唆する状況（例えば、書類の紛失・不審な情報請求・情報システム改ざんの可能性の兆候）があれば、すべて上司またはコーポレートHIS&セキュリティ部門に報告する。

インサイダー取引 の防止



株価に大きな影響を与え
る非公開情報を持ちなが
ら、EUROAPIまたはその子
会社の株式を売買するこ
とは、禁じられています。

インサイダー取引は、会社に関する重要な未公開情報（内部情報）を知った状態で、その会社の株式を売買するときに起こります。

インサイダー取引の最も典型的な例は、悪いニュースによって株価が下落する前に株式を売る行為、また良いニュースによって株価が上昇する前に株式を買う行為です。

EUROAPIでは、EUROAPI、その関係会社、上場企業であるパートナーに関する重要な秘密情報や株価に影響を与えるような情報を有するあらゆる個人をインサイダー（内部者）と見なします。

その結果、内部者は関連する会社の株式の取引、特にパフォーマンスシェアの売却・ストックオプションの行使を控える必要があります。

内部情報とは、次の未公開の事実、知識、データを指します。



⇒ 決算結果s

⇒ 買収提案または投資の引揚げ

⇒ 新製品の販売認可

⇒ 大口契約の終了または獲得

⇒ 係争中の訴訟の敗訴または勝訴

インサイダー取引についてのルールは、EUROAPIの株式だけではなく、会社と繋がりがある第三者の株式にも適用されます。

EUROAPIで守るべきこと：

- ✓ 組織内の職位を問わず、インサイダー取引に適用される法令に従う。
- ✓ 秘密情報は、知る必要のある人だけにのみ開示する。電車、飛行機、レストラン、会議、屋外など、公共の場所での会話やチェーンメールに注意する。
- ✓ こちらから提供する情報については、秘密保持契約や秘密保持条項を利用することにより、第三者が確実にその秘密を保持するようにする。
- ✓ 第三者から受け取った情報の秘密を保持する。
- ✓ REUROAPIにとって重要でない情報がパートナーにとっては重要になりうることを認識する。
- ✓ C確信がない場合は、株式を売買する前に法務部門に相談する。

ソーシャルメディア 使用時の企業 イメージの保護



ソーシャルメディアは責任を持って利用する必要があります。

近年、ソーシャルメディアの利用は私たちの日常生活の一部になっています。投稿やオンラインコンテンツについてのコメントが、会社・社員・ビジネスパートナーのイメージとレピュテーションに容易に影響します。したがって、ソーシャルメディアの使い方に関心を持ち、責任を持つ必要があります。ソーシャルメディアで会社や製品についてEUROAPIを代表して発言することが認められているのは、指定された社員のみです。

会社のイメージやレピュテーションを守るために、仕事とプライベートの両方でソーシャルメディアを適切に使用しなければなりません。この要件は、ソーシャルネットワーキングサイト（例：Facebook®、LinkedIn®、Twitter®）、ブログ、写真／動画共有サイト（例：YouTube®、Flickr®）、ウィキ、フォーラムなど、対話形式で利用できるすべてのデジタルメディアに適用されます。

ソーシャルメディアでオンラインコンテンツの投稿や操作（例：シェア、いいね、評価）をする社員は、たとえプライベートでの使用であっても、その行為がEUROAPIによるものと見なされ、EUROAPIのイメージとレピュテーションに悪影響を与える可能性があることを忘れないでください。



EUROAPIで守るべきこと：

- ✓ インターネット上に投稿する情報はすべて、言及された人やEUROAPIのイメージと評判に影響する可能性があることに留意する。
- ✓ ソーシャルメディアで情報・声明・意見を公開する場合は、責任ある行動を取る。EUROAPI、保健当局、競合他社の活動に関して、第三者や一般人が投稿した内容にコメントや議論を行わない。
- ✓ REUROAPI製品に関する問題についての否定的なコメントやウェブ上の議論は、コーポレート・アフェアーズ部門に報告する。
- ✓ 取材依頼については広報チームに連絡する。
- ✓ メディア関連の活動方針について質問がある場合は、担当マネージャーまたはコミュニケーションチームに連絡する。



本文書のデジタル版は、ウェブコンテンツアクセシビリティ規格のWCAG 2.0に準拠しており、ISO 14289-1の認証を受けています。運動障害のある方は、キーボードのコマンドを使ってこのPDFを閲覧することができます。視覚障害のある方のアクセシビリティを考慮し、コンピューター操作の支援に用いるスクリーンリーダーが画面を読み上げられるよう、タグがすべてに付けられています。また、視覚的に障害のある専門家によってすべて検証済みです。

Version e-accessible par **ipedis**
.....

写真の出典：フロントカバー：GettyImages / Smederevac; P2: GettyImages / Tang Ming Tung; P6: GettyImages / Maskot; P8 : GettyImages / Thomas Barwick; P10: GettyImages / Halfpoint Images; P12: GettyImages / Hinterhaus Productions; P13: GettyImages / SDI Productions; P14: GettyImages / Oliver Rossi; P15: GettyImages / Morsa Images; P16: GettyImages / Luis Alvarez; P17: GettyImages / AnnaStills; P18: GettyImages / Morsa Images; P20: GettyImages / Alistair Berg; P22: GettyImages / vm; P24: Istock / jeffbergen; P25: Istock / RapidEye; P26: GettyImages / pichitstocker; P28: GettyImages / zorazhuang; P30: GettyImages / SDI Productions; P31: GettyImages / owngarden; P32: GettyImages / Thomas Barwick; P33: GettyImages / Thomas Barwick; P34: GettyImages / Westend61; P35: GettyImages / alvarez.